

# 100歳まで元気で暮らすための 糖尿病と変形性関節症対策

豊中ロータリークラブ・中之島ロータリークラブ  
朝日カルチャーセンター連携シンポジウム

前半:40分講演予定 「健康寿命を延ばすには」

豊中市民病院元医院長・日本糖尿病学会認定専門医  
松山辰男先生



100年前の日本人の平均寿命は男42歳、女43歳でしたが、2021年には、男81歳、女87歳を超え、ほぼ2倍になっています。しかし、健康寿命とは10歳の差があるといわれ、いかに健康寿命を平均寿命に近づけるかが社会的課題になっています。一方で平均寿命を超えてなお、仕事をしている人も、この頃は珍しいことではありません。83歳でまだフルタイムで仕事していますが、まだ道半ばで、これから先はどうか分かりません。とりあえずの通過地点に来てみて、今までどう生きてきたかお話して、どうすれば良いかを考えてみたいと思います。

後半:35分講演予定 「手術をしない膝と股の変形性関節症の新治療法。  
鎮痛剤入りヒアルロン酸と再生医療」  
戸田整形リウマチ科クリニック院長 戸田 佳孝先生

厚生省によると変形性膝関節症の人口は自覚症状のある人が約1,000万人、いつ痛みが出てもおかしくない人は約3,000万人と報告しています。変形性股関節症は120~150万人だと言われています。多くの整形外科医は手術治療を研究していますが、多くの患者さんは手術を望んでいません。私は長年手術をしない治療法を研究してきました、その研究成果を講演します。

※大阪中之島ロータリークラブは、国際ロータリー第2660地区のクラブとして1992年に誕生しました。発足以来、国内をはじめ海外での奉仕活動も積極的に展開し、活発な活動を続けています。



日時 4月13日 木曜日 16:00~17:30  
受講料 会員 3,410円 一般 3,740円

★HPからもお申込みいただけます。(オンラインでのご受講の方はHPからのお申込みください)

オンラインで受講→<https://onl.sc/ENfuegN>

教室で受講→<https://onl.sc/ApQvVEQ>

朝日カルチャーセンター中之島教室 06-6222-5222